



左からサイアムのスプトラさん/ノココトハナミズタマの上原さん、穴見さん/Kalanchoeの蛭原さん

GAMADASHIMON
 益城の
 がまだしもん!
 -vol.17-
 チャレンジショップ
 キニナル (宮園)

この場所で踏み出す「一歩」

本場タイ料理のお店

お店を開いてみたい人たちが第一歩を踏み出す場、チャレンジショップ「キニナル」。仮設団地に設置されていた「みんなの家」を再利用し、3つのお店が営業しています。

第1弾として7月にオープンしたのが、菅野光紘さんと妻スプトラさんが営むタイ料理店サイアム。タイ出身のスプトラさんが作る、本場の味を残しつつ、日本人でも食べやすいように工夫を凝らしたタイ料理が味わえます。

「レストランご利用ですか? こちらにどうぞ」。日本語が苦手なスプトラさんが1人でお店に立つ時、隣の2店舗の3人が率先してお客さんに声を掛け、案内します。

親子が集う憩いの場に
 共通する2店舗の思い

その2店舗のうち1つが、9月にオープンした、手作り雑貨の販売など行うノココトハナミズタマ。仲良し同級生上原瑞江さんと穴見和美さん

が、高校時代から夢見ていた2人のお店です。「私たちが作ったものを手に取り、キラキラしている人たちを見ると、幸せな気持ちになります」と声を弾ませる2人。「子育て中のママが息抜きができたり、お客さん同士で新たな交流が生まれる。ずっとそんな場所であってほしい」と2人が思いを語ってくれました。

もう1つのお店が10月にオープンした子ども服店Kalanchoe。店名には、カランコエの花言葉「たくさんの小さな思い出」にちなみ、子どもと過ごす日常の小さな思い出を大切にしたいという、蛭原星羅さんの思いが込められています。自身の子育て経験から、ママと子どもが集まれる場所を作りたいと思うようになったそうです。

「ママの活躍できる場を広めたい」。その思いを胸に、子育て中のママたちが一歩踏み出すきっかけになることを願って。働くママたちは今日もお店に立ちます。

下段写真左から/
 サイアムのガバオ
 ライス/手作りの
 雑貨が並ぶノココ
 トハナミズタマ/
 かわいらしい子ども
 服がそろそろセレクト
 ショップ
 Kalanchoe

